

# ドミニカ共和国（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在ドミニカ共和国日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

## 1.2024年度日本語教育機関調査結果

初等教育			中等教育			高等教育			学校教育以外			全体の合計		
機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数	機関数	教師数	学習者数
0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	26	151	3	26	151

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

## 2.日本語教育の実施状況

### 全体的状況

#### 沿革

ドミニカ共和国における日本語教育は、1959年頃にドミニカ移住者子弟に対するダハボン入植地内の初等教育から始まり、1973年に指導教師の派遣とともに日本語学校が設立されている。その後、日本語（文化）が浸透・波及し、1989年から1997年までサンティアゴ工科大学に、1997年から2013年までAPEC大学語学学校に、サントドミンゴ自治大学（UASD大学）語学学校には2014年から2019年2025年から（2025年12月現在派遣中）JICA海外協力隊員が派遣され、現地人に向けた日本語教育を行っている。日・ドミニカ（共）文化センターは1995年に日系移住者により一般向けの日本語クラスとして開講された。

#### 背景

ドミニカ共和国には、日本人観光客は少なく日系進出企業もわずかなことから、日本語教育は、日本人移住者

子弟のほかは、マンガやアニメなど日本のポップカルチャーに関心の高い層を中心に行われている。

## 特徴

日本人移住者子弟を対象とした日本語学校は、1校あり（本校1校、地方校2校）、現地採用教員等計12名（内3名はJICAボランティア）にて、約70名の学習者に対し、学齢によって6段階のレベルに分けた日本語教育を行っている。

一般向けの日本語教育は、首都サントドミンゴに3校。日・ドニカ（共）文化センターでは2024年3月現在クラスごとにオンライン授業、対面授業、ハイブリッド授業が実施されており、講師は日本人教師1名、現地人教師6名、現地人アシスタント6名、学習者数は117名となっている。APEC大学語学学校は日本人教師1名、現地人教師4名、学生数約20名、サントドミンゴ国立自治大学語学学校は日本人教師1名、現地人教師2名、学習者99名となっている。APEC大学、サントドミンゴ自治大学共に現在は対面授業のみを行っている。

## 最新動向

2024年の日本語教育機関調査時点では、日・ドミニカ（共）文化センター、APEC大学、サントドミンゴ国立自治大学、の3つの機関で日本語教育が行われている。日・ドミニカ（共）文化センターは、幅広い年齢層が日本語を学んでいる。同センターでは、日本料理、習字盆踊りなどの体験や運動会などの催しを通して日本文化も紹介している。APEC大学語学学校では1997年より9代（約20年間）JICA海外協力隊の派遣が行われ、その後現地採用教師が教鞭を執っている。サントドミンゴ国立自治大学では2014年4月に語学学校にて日本語クラスが開講され、毎年校内にて日本文化イベントを開催している。同じくサントドミンゴ国立自治大学サンティアゴキャンパスでも2017年10月に日本語クラスが開講されたが、2024年3月から活動休止中。いずれの大学も付属の語学学校で一般向けの授業として開講している。新型コロナウイルス感染症拡大を受け、一時すべての学校がオンライン授業となっていたが、現在日・ドミニカ（共）文化センターのオンラインクラス、ハイブリッドクラス以外は対面授業が行われている。日本のポップカルチャーの人気の高まりにより、アニメやマンガをテーマとした大規模なポップカルチャー・イベントなども開催されており、日本語学習希望者増加に寄与していると推察される。2025年までに日・ドミニカ（共）文化センターのドミニカ人教師7名がJFの本邦研修に参加した。同人等は帰国後自身の教授法を改善しつつ、研修で得た知識を他教師と共有する努力を行っている他、日本関連イベントにおける日本語教育、日本文化についての講演や番組出演をおこない、日本語・日本文化普及に貢献している。2018年6月には第2回中米・カリブ日本語スピーチコンテストが当地で開催された。

## 教育段階別の状況

### 初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

### 高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

## 学校教育以外

サントドミンゴ国立自治大学、APEC 大学の付属の語学学校で一般人対象の語学クラスが開講されている。初級レベルまで。大学以外の日本語教育機関として日・ドミニカ（共）文化センターがあり、コースは初級～中級レベルまで。クラスには1人の教師に1人のアシスタントがつけられており、教師を目指す学習者にとって教授法を学ぶよい機会となっている。そのため、同センターの卒業生が同国の主要な日本語教師として活躍している。

## 3.教育制度と外国語教育

### 教育制度

#### 教育制度

6-2-4-4（6）制。

ドミニカ共和国の教育制度は、初等教育（小学校6年間、中学校2年間）の8年間（6～13歳）が義務教育となっている。義務教育修了後は、中等教育（高校4年間）、高等教育（大学4～6年）を受けるものと、初等教育後に、職業訓練学校や初等教育学校教員養成校（両者とも高校教育含む）へ進むのが一般的である。

#### 教育行政

高校までの教育機関は教育省が、大学は高等教育科学技術省が管轄しており、一部の職業訓練校は、大統領府職業訓練庁（INFOTEP）が管轄している。

### 言語事情

公用語はスペイン語。

### 外国語教育

殆どの初等教育（4年生から）機関で英語が必修となっているほか、高校からフランス語が必修となる。なお、一部私立の初等教育機関では、フランス語の授業が必修として実施されている。

#### 外国語の中での日本語の人気

当国は、地理的に米国に近く、主要な出稼ぎ先となっており、英語学習人口が多い。日本語は、習得後にビジネスなどで生かせる場が少なく、マイナー言語であるが、近年のポップカルチャー人気の高まりにより、学習者の増加がみられる。

#### 大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

## 4.学習環境

## 教材

### 初等教育

日本語教育は実施されていない。

### 中等教育

日本語教育は実施されていない。

### 高等教育

日本語教育は実施されていない。

### 学校教育以外

《一般学習者対象の場合》

日・ドミニカ（共）文化センター：

『みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ』（スリーエーネットワーク）

『みんなの日本語中級Ⅰ、Ⅱ』（スリーエーネットワーク）

APEC 大学語学学校：

『みんなの日本語初級Ⅰ』（前出）

『まるごと A2 Elementary 1、Elementary 2』（国際交流基金）

サントドミンゴ自治大学語学学校：

『みんなの日本語初級Ⅰ』（前出）

《日本人・日系人子弟対象の場合》

『みんなの日本語初級Ⅰ、Ⅱ』（前出）

『日本語うきうき』 JICA 日系社会ボランティア作成、2000 年（副教材）

『JAPANESE FOR YOUNG PEOPLE』 国際日本語普及協会（講談社 USA）（副教材）

『たのしいにほんご』

『にほんごドレミ』

## IT・視聴覚機材

2023 年 1 月現在、Zoom、Google Meet、Discord などのソフトウェアを利用してオンライン授業が実施されている。

## 5. 教師

### 資格要件

#### 初等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

## 中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

## 高等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

## 学校教育以外

学校によって資格要件は異なる。

## 日本語教師養成機関（プログラム）

各日本語教育機関内において、後進を育てるための独自の試みが行われている。

## 日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

日本ドミニカ文化センター 日本語ネイティブ教師 1人(2025年現在)

APEC 大学 日本語ネイティブ教師 1人(2025年現在)

サントドミンゴ国立自治大学 日本語ネイティブ教師 1人(2025年現在)

## 教師研修

日本人移住者子弟を対象とした日本語学校では、同校の教師を対象に、年3回の合同研修会が実施されている。

2009年以降毎年、中米カリブ日本語教師ネットワーク主催の「中米カリブ日本語教育セミナー」に数名の教師が参加している（2012年にドミニカ共和国で開催）。現在までに日・ドミニカ（共）文化センター、APEC大学、サントドミンゴ国立自治大学、日本語学校の教師が参加経験あり。

2013年より、JFメキシコより日本語専門家の出張講義を企画している。（ドミニカ共和国内全日本語教師対象：主催ードミニカ共和国日本語教師グループ）

2025年までに日・ドミニカ（共）文化センターのドミニカ人教師が7名JFの海外日本語教師短期研修に参加した。

## 6.教師会

### 日本語教育関係のネットワークの状況

2009年、ドミニカ共和国日本語教師グループ発足。2009年にドミニカ共和国から10名が参加した「中米カリブ日本語教育セミナー」の参加者を中心に設立され、随時メンバーは更新されている。

## 7.日本語教師派遣情報

## 国際交流基金からの派遣

なし

## 国際協力機構（JICA）からの派遣（2025年10月現在）

### 青年海外協力隊

サントドミンゴ国立自治大学語学学校 1名

### 日系社会青年海外協力隊・日系社会海外協力隊

(法)ドミニカ日系人協会 2名

## その他からの派遣

(情報なし)

## 8.シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

## 9.評価・試験

2020年12月より、毎年1回日本語能力検定試験が首都サント・ドミンゴで行われている。

## 10.日本語教育略史

1959年	移住者子弟に対するダハボン入植地内にて日本語教育開始
1973年	日本語学校設立（日系人子弟対象）
1989年	サンティアゴ工科大学にて一般の学生・社会人を対象に日本語教育開始（～1997年）
1995年	日・ドミニカ（共）文化センター設立（一般向け）
1997年	APEC大学にて学生・社会人を対象に日本語教育開始
2014年	サントドミンゴ国立自治大学にて日本語教育開始
2017年	サントドミンゴ国立自治大学サンティアゴキャンパスにて日本語教育開始(2024年3月から休止中)

## 情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。  
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

**Eメール：kunibetsu@jpf.go.jp**

(メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください)